

2013年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2014年2月16日(日)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	96名
会場	台東リバーサイドスポーツセンター				
大会名	第1ブロック審判講習会				
指導員名	古賀研二				

指導会当日の概要

- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象にオフサイド解釈の改正についての講義により理解を深め、実技を行うことで、来シーズンへの準備を促す。
- ・8人制サッカーの主旨、また、審判員の役割講義により深めることをはかる。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より1名の講師をお招きして講義と実技研修を行いました。
- ・参加者は第1ブロック登録チームより計94名参加しました。
- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象にオフサイド解釈の改正についての講義により理解を深め、実技を行うことで、来シーズンへの準備を促す。
- ・8人制サッカーの主旨、また、審判員の役割を講義及び実技により深めることをはかる。
- ・オフサイド解釈の改正については、映像を見ながら解説をして頂き、解りやすかったと受講者の方から好評でした。

指導員コメント

- ・100人もの受講生であったが、みんなが熱心に、こちらを向いた真面目な取組みで、数多くの質問もあった。
- ・このような姿勢は必ずブロック内の審判技術向上につながり良い選手を生むと感じた。
- ・このような取組みには、惜しまない指導がとても有効な事であり、本来の我々が目指すところと、このブロックは教えてくれたと思います。

指導会写真



2013年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2013年8月31日(土)	実施ブロック	第6ブロック	参加人数	103名
会場	赤羽スポーツの森公園競技場				
大会名	6B 審判講習会				
指導員名	川澄正史、村上泰一、望月通				

指導会当日の概要

- ・13時 講義形式(テーマ:第四の審判員。屋外にて。拡声器あり)
- ・14時半 観戦(指導員3名と6B副審1名の4名で1試合を担当)
- ・15時半 実技(2面にて、5分間1本の試合を4名セットで約25本。直後に2-3分間の指導)
- ・講義が屋外で声の届きにくいことが予想されたため、聞き逃しても後で振り返れるよう競技規則条項の順に合わせた説明資料を用意し、記載順に説明した。

ブロックコメント

- ・今回は座学・観戦・実践と、3つの分野に分けての研修会で、座学においては第4の審判員の働きや心得に重きを置いての内容を依頼しました。
- ・4人の審判団で行なうゲームコントロールに絶対に欠かせないベンチコントロールの重要性を理解していただくことで、実際に春と比較するとスマートなゲームコントロールが可能になりました。
- ・観戦研修においては、少年4チームを招へいし、実際の試合を育成指導員にレフリングしていただき、目で見て学ぶことにより、自身と比較しながら動きやポジショニング等を学ぶことが出来ました。それらを踏まえて、最後には参加者全員が少年チームのトレーニングマッチでのレフリングを行ない、ご指導いただきました。
- ・多くの参加者が短時間でスキルアップし、その後のブロック大会に役立てる事ができ、内容・時期を含めて大変実りある研修会だったと感じております。ありがとうございました。また次回、宜しく願い致します。

指導員コメント

- ・研修会の準備・運営は非常にしっかりしており、ブロック運営が円滑に行われていることが感じられた。
- ・参加審判員は皆熱心であった。
- ・当日のテーマは第四の審判員であり、ブロック内の試合では、活躍場面は少ないと思えるが、講義と観戦を通し、第四の審判員が単に交代表理者ではないことを理解されたと思う。
- ・実技においては、担当試合直前の打ち合わせ、試合、反省会のセットが担当任務であることを再認識されたと思う。今後も有意義な内容の研修会を企画されたい。

指導会写真



2013年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2013年10月14日(月)	実施ブロック	第12ブロック	参加人数	6名
会場	日野市多摩川グランド				
大会名	JA東京カップ5年生大会				
指導員名	古賀研二、加藤義行				

指導会当日の概要

- ・8人制1人審判で行う大会のため必要審判員が少数であった。
- ・決勝リーグのため中央大会に行くことが決まっているチームによる順位決定戦。
- ・高校1年生の審判員が中央大会に行くことを目指しています。

ブロックコメント

- ・今回は一人制審判法で決勝リーグと言う事も有り6名の少数精鋭で行いました。
 - ・その中で二人は初めて決勝リーグを吹く事や、育成指導員が見ている事で、緊張していましたが、一生懸命走り、力を発揮出来たと思います。
 - ・中でも15才(高一)の審判員は今後有望な人材です。
- まだ荒削りですが、今回は敢えて見ていただきました。
暖かい目で見てくださいませ、宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・参加者全員指導員のアドバイスを真摯に受け止め話を聞いていただき感謝します。
- ・技術向上に向けた各チームの帯同審判員への指導は大変評価できます。
- ・ご推薦いただいたユース審判員はまだまだ訓練が必要と思われませんが、お父様が現役2級審判員ということから将来が期待されます。皆で育てていきたいと思ひます。

指導会写真



2013年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2013年11月24日(日)	実施ブロック	第14ブロック	参加人数	61名
会場	小平市小川西グラウンド				
大会名	第9回小平市サッカー協会少年部選抜ジュニアサッカークラブ(小平JSC)招待大会				
指導員名	鬼木崇嗣、岩崎英一				

指導会当日の概要

- ・第9回小平市サッカー協会少年部選抜ジュニアサッカー大会を審判講習会として設定。
- ・14ブロック所属の各チームから参加。主に4級審判員の育成を主眼とする。
- ・大会参加チームは近隣市の選抜チーム。技術レベル、フィジカルも高いので、緊張感をもったゲームコントロールするために好適な設定と思われる。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名の講師をお招きして講義と実技研修を行いました。
- ・講義は『審判チームとしてのテクニック』、『オフサイドの新解釈』についてお話ししていただきました。
- ・実技は小平市協会少年部のご協力により、選抜招待大会初日の7試合で行いました。
- ・審判は参加したメンバーの中から、主審、副審、第4審でチームを作り、実際に審判を行って頂き、ゲーム終了後に講師と参加者でディスカッションをしながら、試合での改善点等、アドバイスを頂きました。
- ・参加者は午前44名・午後17名で合計61名、実際に審判をして頂いた方は27名でした。
- ・今後も各市内大会・ブロック大会等で、この経験を生かしてより良いジャッジをして頂ければと思います。

指導員コメント

- ・4級審判員の育成ということであったが、みながんばって走っており、気持ちもつたわってきた。
- ・全体を通じての総括として、以下2点をコメントした。
 - 1)主審:よく走れているので、次の争点を意識してもう少し走ってみてください。
 - 2)副審:きれいなフラッグテクニックを意識しましょう。お手本は競技規則にあります。
- ・ブロック審判部からの事前通知によって、原則として加盟各チームから1名以上の参加が求められていたこともあって、試合を担当する審判員のほか講義および試合実践と指導の見学者も多かった。
- ・試合を担当した審判員の審判技術レベルは概ね高く、意識も積極的であった。
- ・質疑応答も活発で、トレース図が是非欲しいという審判員もいたが、残念ながら連盟への提出が必要であると話したところ写真に撮っていた。

指導会写真

